

令和5年度 沼津市立原東小学校グランドデザイン



義務教育9年間をとおして子供の力を育む 原の教育
沼津市立原中学校区小中一貫教育目標

自立と共生

●原東小学校教育目標

優しくて頑張れる子

●学校経営目標 「幸せな学校」をつくろう！

地域・保護者のねがい

- ・体験を重視してほしい
- ・地域の課題を発見して解決する力
- ・人とかかわる力
- ・自主性
- ・危機回避能力
- ・原の歴史と伝統を知ってほしい
- ・地域に残りたい、帰りたい人をふやす
- ・郷土愛
- ・原を誇れる子

沼津市の教育基本構想
誇り高い沼津を創造する、
貴き志を持つ人づくり

静岡県の基本理念
「有徳の人」の育成～誰一人取り残さない教育の実現

国の教育方針
「令和の日本型学校教育の構築を目指して」～すべての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」

原の子供たち 15歳までに身に付ける資質・能力

既存の知識を活用し、探究を通して、
新しい考えや最適解を創り出す力

- 対話する力
- 人とつながる力

問いを発見し、創造的な思考を働かせ
ながら解決し、意思決定できる力

- 情報活用能力
- 創造・表現する力

社会の当事者として、目的や課題を明
らかにし、新しい価値を生み出す力

- 自己理解する力
- 選択する力

他者とつながる【協働】

新しい価値を創造する【創造】

自らをコントロールする【自立】

具体的な手立て

- ・聴く名人になろう
相手のことをわかって聴く
聴くことのため3段階のしつけ
学び合いを生み出す聴き方スキル
- ・学び合う授業づくり
毎日の学習の記録(音読カード)と活用
学びの実感をもてる授業の展開
AIドリルの活用
心理的安全性の確保
- ・読書活動の充実
推薦図書の完読
朝読書、読み聞かせの実施
ペア読書、親子読書の実施
- ・自分から進んであいさつ
前段階として「あいさつを返せる子」
- ・特別支援学校との交流の継続
- ・地域学習の推進
総合的な学習での地域連携

- ・ICT活用能力の共通理解
家庭学習や授業での活用
学んだことの発表、地域への発信
学級活動や委員会活動等での活用
情報モラルの涵養
情報活用能力の育成
- ・異年齢活動の充実
たてわり活動、ペア活動
たてわり運動会
運動会のたてわり種目
- ・話し合い活動の充実
話し合い活動の進め方の共通理解
学級会、委員会、児童会活動の中で活動できる機会の創出
- ・あたたかい人間関係づくり
「あったか言葉」の浸透
ほめ言葉のボイスシャワー

- ・めあてをもって運動する
きらきらストレッチ
なわとび運動
体力アップコンテストへの参加
様々な体育的行事
特別支援学校との体育的交流
- ・黙動清掃の実施
時間いっぱい活動する
汚れに気づく、自分からさがす清掃
- ・避難訓練、安全指導
習慣づけと主体的避難者の育成
- ・日常的な保健指導
身体計測や健康診断時の指導
感染症予防指導
- ・食事の大切さを知る
食育指導の継続
- ・自分の強みや弱みに気づく
良いこと見つけ等の実施

評価

授業が分かる 90%
進んで読書 75%
進んであいさつ 85%
特別支援学校との交流は楽しい 90%
原のまちが好きだ 90%

学校が楽しい 85%
Chromebook は学習に役立つ 95%
自分の仕事をしっかり行っている 90%
あったか言葉・正しい言葉遣い 75%
将来の夢や目標がある 80%

目標をもち運動する 70%
時間を守って、だまって清掃する 75%
防災の心構えがある 90%
食事の大切さを知る 85%
自分にはよいところがある 75%